

令和3年度の全日制学校評価（結果）

ア 自己評価結果等

<p>重点目標</p>	<p>ア あらゆる教育活動を通し、他者と関わる力を身につけさせ、生徒の主体性、自尊感情、他者と結び合う心を育てる。</p> <p>イ 「授業参観週間」「高校生のための学びの基礎診断」「牧高パワーアップアンケート」の活用と教科主任者会のリーダーシップにより、誰もが「よい授業」を目指す本校の文化を維持する。</p> <p>ウ 教科書採択の討議をはじめ新学習指導要領についての学びを深めるとともに、校内体制の最終点検を行う。</p> <p>エ 創立100周年に向けた取組を活用し、地域への積極的な発信に努め、さらに地域への還元に取り組むことによって「残る高校」を目指す。</p> <p>オ 教育活動の見直しや業務の精選とともに、スケジュールや書籍の管理スキルなどの「個の力」を高め、多忙化解消を推進する。また、困ったときに助け合える人間関係づくりに努める。</p>		
<p>項目（担当）</p>	<p>重点的目標</p>	<p>具体的方策</p>	<p>評価結果と課題</p>
<p>学習指導 （教務部） （各教科会） （各学年会）</p>	<p>授業に臨む態度の育成 （学校評価アンケートにおける「家庭で学習するよう十分指導していると思うか」の回答が、「思う」「少し思う」合わせて70%を越える。）</p> <p>学習意欲の向上</p> <p>基礎学力の定着</p> <p>授業力の向上 （学校評価アンケートにおける「わかりやすい授業を心掛け、工夫をしていると思うか」の回答が、「思う」「少し思う」合わせて70%を越える。）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業準備の定着を図る。 ・チャイム後、すぐに授業を開始できるようにする。 ・授業ガイダンスを通して、学習の目的、授業の受け方、予習・復習の仕方について、しっかり説明する。 ・習熟度別授業などの生徒の学力に応じた授業展開を工夫し、授業内容の理解度を高める。 ・計画的な確認テストを実施し、生徒の理解度を把握する。 ・学びの基礎診断(スタディサポート)を活用し、予習、検査、復習のサイクルをしっかりと構築させる。 ・授業参観週間の活用、教科会における授業研究を通して、教師の授業力向上を図る。 ・牧高パワーアップアンケートの結果を分析し、授業改善に役立てる。 ・新教育課程実施に向けて各教科で準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・重点目標の「授業に臨む態度の育成」については、学校評価アンケートの結果、70%を超えていたので、概ね目標は達成できたと考えている。しかしながら、多くの職員がよくできていると感じているわけではないので、引き続き家庭学習の充実を図りながら、生徒一人ひとりがしっかりと授業に臨む姿勢が整うよう、より一層の指導をしていきたい。 ・「学習意欲の向上」及び「基礎学力の向上」については、各教科や各学年と連携を図りながらよく取り組むことができたと考えている。日常の授業はもちろんのこと、確認テスト(小テスト)の実施、学びの基礎診断の活用、考査前学習会の開催、スタディノートの活用、個別の指導等、各々の場所で創意工夫を凝らした取り組みが行われ、生徒はしっかりと学習し、学力が定着したと考えている。 ・「授業力の向上」については、コロナ禍で保護者の方々に授業を参観していただくことができなかったため、学校評価アンケートによる結果や考察がかなわなかった。しかしながら、生徒向けの「牧高パワーアップアンケート」の同様の質問に対する結果では、肯定的に考えている生徒が87%おり、概ね目標を達成できたと考えている。今後も新教育課程導入に向けて、県教育委員会が中心となり取り組んでいる、あいちラーニング推進事業等を活用しながらしっかりと授業改善に取り組んでいきたい。
<p>生徒指導 （生徒指導部） （各学年会）</p>	<p>基本的生活習慣の確立</p> <p>情報モラル・情報リテラシーを高める指導の充実 （学校評価アンケートに</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻・欠席の減少を目指す。安易な欠席、遅刻をさせない。 ・5分前行動の定着。 ・遅刻防止週間の設定実施。（学年との連携） ・授業規律の確保や怠学の防止。（適応指導） ・携帯、スマートフォンの校内における使用規定を遵守させる。 ・情報モラルに関する講話や 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻防止週間は6月、10月、1月に実施し、効果があった。 ・授業開始前の着席と教員の入室が定着している。 ・インターネット利用安心講話は、学校独自の作成資料で各クラスICTを活用した講話を実施。効果があった。1年生の使用マナーがよくなったことが来年

	<p>における「先生方は生徒のインターネット上のルールやマナーについて指導をしていると思うか」の回答が、「思う」「少し思う」合わせて70%を越える。）</p> <p>交通事故防止と交通(社会的)マナーの指導</p>	<p>スマホPC使用ガイドライン7(啓発資料)を活用した指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報リテラシーを高める指導として、生徒自らが課題を解決するための情報を収集整理し、それを発信させる指導を行う。 ・登校時の自転車による事故防止教育 ・迷惑行為等のマナー教育 ・「学警連携」地域、警察との連携 	<p>度の課題。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内の使用規定において、周知されており、使用マナーについても適切に指導ができています。BYODについても現規定において対応できている。今後はタブレット導入に向けてのルールづくりなどの環境整備が必要。 ・ガイドラインの内容は適切である。ほとんどの保護者の方はガイドラインを認識されている。生徒の意識向上が課題である。 ・交通事故件数は減少傾向。交通安全講話は、各学年ごとの独自作成資料で講話を実施。効果があったといえる ・交通マナーや事故防止の啓発資料も適宜発信した。 ・外部連携活動はコロナ対応として中止した。
<p>進路指導 (進路指導部) (各教科会) (各学年会)</p>	<p>3年間を見通した進路指導の推進 (学校評価アンケートにおける「必要な進路情報を提供していると思うか」の回答が、「かなり思う」「そう思う。」合わせて70%を越える。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路希望状況・推移を十分に把握し、行事等の企画・運営に生かす ・教科・学年と情報を共有し、継続性のある指導を展開する。「学びの基礎診断」や模擬試験を有効活用する ・新カリキュラムに対応した大学入試等の変化を注視する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路希望状況を各学期当初に把握し諸施策に生かした。変化する高大接続改革、昨年度より始まった新制度入試に向けての情報を収集し、適切に対処した。 ・「進路のしおり」や、各種ガイダンスによって、適時に的確な情報を生徒、保護者に提示してきた。 ・今年度もコロナの影響を大きく受けたが、全体としては予定通り指導を行うことができた。 ・次年度以降も、状況に応じて適切な指導を継続していきたい。
	<p>生徒の進路希望実現に向けての必要十分なサポートの実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科・学年に成績等のデータ・情報を提示し、進路指導・学習指導をサポートする。担任が個々の状況を把握する手段として、各種デジタルのサポートの適時の活用を促す。 ・入学試験や就職活動・試験に向けたきめの細かい指導を行う。面接や小論文についても、1年次からプロセスを踏んで指導するようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験や入学試験の各種データを教員、生徒、保護者に分かりやすく提供した。 ・進路検討委員会、推薦委員会、担任会等も活用して、進学・就職指導の情報共有や方針の確認を行ってきた。 ・今年度もコロナの影響を受けたが、補習や模擬試験を適切に運営してきた。 ・学年・教科との連携をさらに深めて、より適切な進路指導を進めていきたい。
<p>学校安全・保健 (生徒指導部) (保健厚生部) (総務部) (各教科)</p>	<p>健康や安全に対する意識の高揚と体力の向上を図る</p> <p>生活習慣改善のための啓発活動を行う (学校評価アンケートにおける「生徒の健康状態を把握するとともに、十分な相談活動を行っていると思うか」の回答が、「思う」「少し思う」合わせて70%を越える。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる機会を利用して、健康や安全について考えさせ、生命の大切さや安全のための実践的な能力を育成する。 ・保健だよりなどを通して健康に関する知識の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・LTの時間に感染症予防、また睡眠についてのスライドショーを各クラスで見せ、健康に対する意識の高揚を図ることができた。2年生に対しては、保健講話も実施した。 ・ほぼ毎月保健だよりを発行し、健康に関する知識の向上を図った。また、保健厚生委員会の活動を通して、生活習慣改善のための啓発活動を行った。 ・学校評価アンケートにおける、健康状態の把握と相談活動についての項目では、「思う」「少し思う」を合わせて80%を越える回答だった。

<p>保護者連携 地域連携 (総務部)</p>	<p>家庭や地域社会との連携を図る (学校評価アンケートにおける「先生方はPTA行事に積極的に保護者に参加してもらえるように内容を工夫していると思うか」の回答が、「思う」「少し思う」合わせて70%を越える。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育方針に対する地域や保護者の理解と協力を求める。 学校のHPの更新を随時行い、情報発信に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価アンケートをWeb実施に改め、配布・回収・集約を効率的に行うようにした。さらに、きずなネットで各月の月間行事予定に終礼の時刻を記載して配信し、より保護者の理解と協力が得られるように努めた。 今年度は、コロナ禍のため、「先生方はPTA行事に積極的に保護者に参加してもらえるように内容を工夫していると思うか」というアンケート項目を削除したため、保護者の評価は不明であるが、引き続き保護者の理解と協力が得られるよう改善に取り組む。
<p>学校行事 (生徒会)</p>	<p>学校祭の充実を図る (学校評価アンケートにおける「先生方は生徒が牧高祭に意欲的に取り組めるよう努力していると思うか」の回答が、「思う」「少し思う」合わせて70%を越える。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各種委員会等を活用して、生徒の要望・意見を吸い上げることに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 本年度は感染症予防のため文化祭の縮小、体育祭の延期をし開催をすることができた。どちらも急遽変更をした開催であったが重点的目標に掲げた数値は上回ることができた。 来年度は本年度の反省からさらに生徒の満足度を向上させたい。
<p>図書館利用 (図書部)</p>	<p>図書館利用の充実を図る (学校評価アンケートにおける「先生方は魅力ある図書室作りに努めるとともに、十分な広報活動を行っていると思うか」の回答が、「思う」「少し思う」合わせて70%を越える。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 図書館行事の紹介や新着図書一覧の作成など図書だよりやHPを活用し、情報発信に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「映画鑑賞会」や「読書週間」などの例年の行事に加えて、「本のプレゼンテーション」・「図書委員のおすすめ本」の廊下掲示等、生徒による情報発信も行うことができ、平日の図書館利用は微増した。 目標に掲げた数値は上回ることができたものの、まだ十分とは言えず、来年度も新着図書の充実や広報活動に力を入れたい。
<p>いじめ・不登校対策委員会</p>	<p>いじめの未然防止に係わる取り組みの充実 いじめの早期発見、適切な事案対処</p>	<ul style="list-style-type: none"> 朝礼や学年集会、ホームルーム活動において、いじめ防止をテーマとした活動を取り組み、生徒がいじめ問題を主体的に考える機会を設ける。 「学校生活に関するアンケート」(年2回実施)の実施方法や、その後の対処の在り方について検証し、いじめの早期発見、迅速な対応に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 風紀委員会活動として、いじめ未然防止をテーマにポスターづくりを実施。各学年に掲示した。 アンケート調査から迅速かつ、きめ細やかな対応により、状況把握と対応ができています。 不登校の未然防止について、教員のその意識は年々向上している。 入学年時において学校不適応生徒は、昨年度より減少。対応により改善する生徒もいる。更なる体制が課題。(教員研修)
<p>教職員の健康管理</p>	<p>勤務時間の適正管理及び長時間労働による健康障害防止</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の在校時間状況記録の結果の活用・ストレスチェックの結果の有効的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> 1月時点で80時間超えの先生は、のべ14名(昨年度同時期20名)であった。職員会議等でのペーパレス化を図ってきたが、模擬試験の校内実施や部活動の指導等による影響が大きい。
<p>総合評価</p>	<p>学校全体としては、牧高パワーアップアンケートの結果が示すように、落ち着いた学習環境が充実してきていると考えられる。一方、コロナ禍のこの2年間は、遅刻・欠席の増加、特別支援教育委員会での報告件数の増加が見られる。教育相談および不登校の未然防止体制の強化や、地道な生徒面談を行うことを継続し、困っている生徒を早期発見・早期対応する必要がある。</p> <p>授業態度、課題の提出状況は向上しているが、基礎学力の定着がまだ十分ではない。今後も日常的な粘り強い指導を継続するとともに、興味・関心が湧く授業改善や主体的・対話的な深い学びができるような授業改善に各教科取り組んでいく。来年度から始まる学習指導要領の実施に向けて、各教科の指導力を、個の力としてだけでなく、小牧高校の教科力として高められるよう、教科内で</p>		

	<p>の研修の充実を図っていく。また、ICTを活用した授業研修も継続的・発展的に進めていく必要がある。さらに、学校の様々な教育活動が、進路意識を高め、生涯学習をし続ける意欲を喚起し、生徒の成長を促す方策を更に研究しながら、実践をすすめていく。</p> <p>令和5年度の創立100周年に向けての準備も少しずつ進んでいる。周年行事が充実したものになるよう、前年度の準備をしっかりと行う必要がある。</p>
--	---

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりとやさしさをもった心豊かな人間の育成 ・誰もが「よい授業」を探究する職場文化の維持 ・新学習指導要領施行に向けた学びと最終点検 ・「残る高校」を意識した、地域への積極的な発信と還元 ・働きやすく、働き甲斐のある職場づくり
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度から2年間「あいちラーニング推進事業」の重点校となり、ICTを活用した授業研究が行われる。その事業を積極的に活用し、授業改善を行ってきている。「牧高パワーアップアンケート」の結果によると、授業についての満足度は、目標値を上回っているが、基礎学力の定着が、まだ不十分である。次年度から新学習指導要領が施行されるが、より一層の小牧高校の教科力アップのため、この事業を活用しながら、個のみならず教科会としての授業研究を進めていくことが必要である。 ・今年度は、学校評価アンケートをGoogleフォームを活用して意見集約を行った。保護者方から貴重なご意見をいただく機会となり、今後の学校運営へのヒントをいただくことができた。 ・6月から「きずなネット」での欠席連絡もできるようにしたところ、保護者の方々には好評であった。双方にとってよりよい活用方法を模索し続ける必要がある。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業の構築を、個の力のみならず、小牧高校の教科としての向上を目指す。 ・面接週間を活用し、生徒個々のつまづき等を早期発見に努め、個々の向上を目指し、高校生としての自覚を促し、規則を厳守する姿勢を養う指導を行う。 ・生徒への牧高パワーアップアンケート結果を今後の指導改善や授業改善に向けて生かすよう、分析と実践の意識を高めていく。 ・今後も公開授業の実施や授業参観週間の設置を継続し、授業力の向上を図り、生徒のより高い進路目標を達成に向けて、学力の向上に努めていく。
その他 (学校関係者評価委員から出された主な意見、要望)	<ul style="list-style-type: none"> ・全日制と定時制の生徒同士の接点がないように思う。多様性の教育を重視しているのならば、工夫が必要ではないか。 ・学習指導、生徒指導、進路指導の分野でそれぞれ手をかけているのは承知しているが、学校からの発信、保護者からの要望の把握などにさらに取り組んでほしい。 ・PTAの役員会や委員会の会議でZOOMなどを利用できないのか。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> ・構成…学校評議員4名、3年PTA役員4名、校長、教頭、事務長 ・評価時期…3月下旬

令和3年度の定時制学校評価（結果）

ア 自己評価結果等

重点目標	<p>(ア) 教育活動全体を通じて、他者と関わる力を身につけさせ、生徒の主体性、自尊感情、他者と結び合う心を育てる。</p> <p>(イ) すぐれた指導事例を学び合うなど「授業研究」の文化を醸成し、授業改善を推進する。</p> <p>(ウ) 新教育課程の変更にとまなう諸問題を予見し、校内組織の調整など移行のための準備を進める。</p> <p>(エ) 生徒を取り巻く社会の変化に対応した、就労支援・進学支援のための4年間の進路指導計画を作成する。</p> <p>(オ) 教育活動の見直しや業務の精選に加え、スケジュールや書類の管理スキルなどの「個の力」を高め合い教職員の多忙化の解消に努める。</p>		
項目	具体的目標	具体的方策	評価結果と課題
学習指導 (教務部) (各教科)	多様な生徒への対応と授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒への対応の充実・外国人生徒対応の一層の充実・基礎学力が不足した生徒へ 	<ul style="list-style-type: none"> ・SC、担任、保護者との連絡等により、不登校生徒の減少がみられた。 ・学習支援や授業支援等は、外国人生徒教育支援員制度を活用した生徒にとって有意義なものとなった。 ・各教科による丁寧な指導により一定の成果はあったが学びの機会を活かせない生徒も一定数おり、対

		の対応の充実	応の工夫が課題である。
	特別活動等「在り方生き方教育」	・総合的な探究の時間への対応など、具体的な指導の充実	・生徒の実態に合った内容を分かりやすく伝えることができた。日本語力の向上だけでなく日本の文化や習慣を伝えることの補助にもなった。
生徒指導 (生徒指導部)	基本的な生活習慣の確立	・遅刻者、早退者への指導の充実・欠課過多者への指導の充実	・担任を中心とした指導により安易な遅刻早退は減少した。 ・高等学校の出席の重要性について、保護者に十分理解してもらう必要がある。
	生徒情報の精選と共有	・定期的情報交換会の開催	・生徒情報は全職員で共有することを心掛けた、迅速な対応をすることができた。
	交通安全指導の充実	・交通安全講話の実施 ・下校指導の実施	・交通安全講話や、HRを活用した交通安全指導を計画したが、昨年度よりも交通事故の件数が増加した。 ・登下校での安全指導を計画する等、指導の充実を図りたい。
	いじめに対する措置	・いじめ防止講話の充実	・県方針に基づく組織的な対応を行った。 ・SNSでのトラブルにも注視していきたい。
進路指導 (進路指導部)	進路意識の向上及び進路学習の充実	・進路講演会 ・面接指導の実施 ・進路情報の提供	・進路指導講演会を改変した進路行事を活用して、全学年の生徒に対しての情報発信を行うことができた。外部講師がリモートでも講演できるように、ICT機器の利用を進めていく。 ・4年生就職希望者に、早めの情報提供と個別の面接指導を行い、希望者はほぼ全員の内定が得られた。 ・個々の状況に応じて、生徒のキャリア発達を促す働きかけの具体的な方策を検討する。
保健指導 (保健厚生部)	健康の増進及び相談活動の充実	・健康診断の円滑な実施と治療勧告 ・SCの効率的な活用	・保護者会期間を活用して本人及び保護者への健康診断結果を通知することができた。 ・生徒が抱える様々な課題への対応や外部機関との連携方策等、具体的なアドバイスを受けることがき、生徒指導に効果的であった。
	環境教育の充実	・節電、省エネを通じた環境意識の高揚	・SCや栄養士の講話を通じて自然との共生意識を高められた。
教職員の健康管理	健康障害防止の取組	・勤務時間の適正管理	・勤務管理簿を活用できた。
総合評価	<p>・生徒は落ち着いた学習環境の中で学習に取り組んでいる。本校の特徴でもある、外国籍生徒の日本語の能力によって、生徒個々の教育に対するニーズがかなり異なるという問題への対応が急務である。授業前に、学習会を設定して、学習の格差を是正したり、授業外の補充指導を充実させることで対応しているのが現状である。</p> <p>・今年度は交通事故の件数が多かったので、改めて交通安全教育や立ち番指導等を充実させる必要がある。</p> <p>・課題を抱える生徒への対応については、SCや外部機関と連携して取り組んだ。さらに効果的な対応ができるよう研究を進めたい。</p>		

イ 学校関係者評価結果等

学校関係者評価を実施した主な評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習歴をもつ生徒への対応について ・多様な課題を抱える生徒への対応について ・日本語教育を必要とする生徒への対応について
自己評価結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な学習ニーズを持つ生徒ひとりひとりへの個別対応に評価を得た。 ・多様な課題を抱える生徒対応について、外部機関と連携しながら対応した。
今後の改善方策について	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒それぞれのニーズに応じた日本語教育の在り方の工夫。 ・様々な課題を抱える生徒に対応するための外部資源のさらなる有効活用について研究する。
その他（学校関係者評価委員会から出された主な意見要望）	<ul style="list-style-type: none"> ・外部との交流の機会の拡充。
学校関係者評価委員会の構成及び評価時期	<ul style="list-style-type: none"> ・構成・・・学校評議委員4名 ・評価時期・・・3月